

海外生活 エッセー

ニューヨーク事務所

昔ながらの暮らしを続ける アーミッシュコミュニティ

(一財)自治体国際化協会ニューヨーク事務所 所長補佐 柏井 孝太郎 (松江市派遣)

「アーミッシュ」という人々をご存知でしょうか。アーミッシュは、17世紀に宗教の自由を求めてヨーロッパから米国に移住したキリスト教の一派で、昔ながらの生活を送り、家族・コミュニティとの繋がりを重んじていることで知られています。現在、北米には約30万人のアーミッシュの人々が暮らしていると言われており、その人口は年々増え続けています。今回は、約3万7,000人のアーミッシュの人々が住んでいると言われている、米国ペンシルベニア州ランカスター郡にあるアーミッシュコミュニティの生活について紹介したいと思います。

→ コミュニティの中で協力し合う生活

アーミッシュコミュニティに住む家族の大半は、家族内で協力し合いながら農業や商店を営んで生活していますが、家の建



家族経営の商店の様子

設など人手が必要な場合は、コミュニティ内で声を掛け合い、協力して物事に取り組みます。また、世俗から距離を置くという信条から、アーミッシュの人々は医療保険に加入していません。怪我や病気で医者にかかった場合は、全額負担をすることになりますが、もし医療費が過大となり家族で支払いができないときには、コミュニティ内でお金を出し合うなど、コミュニティ内で助け合って生活をしています。

→ 電気に頼らない生活

アーミッシュの人々は、公共の電力網から電気の供給を受けず、電気を使用する機器の大半を活用していま

せん。パソコンやテレビなどの家電製品を持たず、明かりはガス灯を使用し、衣類は手縫いや足踏みミシンで



アーミッシュの人々が使用する馬車

作成します。さらに電気を使用しないだけでなく、移動手段は地面を蹴って進むスクーターや馬車を使用し、農場では馬が農耕機を引いています。

しかしながら、実は電気を全く使用しないわけではなく、アーミッシュの人々が営むお店では、ディーゼル発電機などで発電し、レジやクレジットカードリーダー、電話などが使用されています。また、親戚に会いに行くなど、遠くに移動する場合は、バスなどの交通機関を使用します。アーミッシュコミュニティの現地ガイドによると、彼らが基本的に電気を使用しないのは、電気の使用そのものに反対をしているわけではなく、彼らが信ずるキリスト教の教義に則り、家族・コミュニティとの繋がりを大切にすることを目的としており、それを阻害する恐れのあるテレビなどの機器は使用しませんが、自分達の価値観や生活に合わせて、必要最低限なもののみを取り入れているということです。

→ おわりに

米国は、多様性が進んでいる国です。私自身、異なる文化、考えを持つ人々から多くのことを学びましたが、アーミッシュの人々の生活への姿勢は、本当に豊かな暮らしとは何かということを考えるきっかけとなりました。